

# タイ・ユニオン・グループ

## 研究に投資を拡大、エビ商品の開発に注力する

**フィリップ証券株式会社**

### タイ | 加工食品 | 業績レビュー

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU.BK

- 2016/12 期 4Q (10-12 月) は売上高が前年同期比 0.7% 増の 335.50 億 THB、純利益が同 19.1% 増の 9.02 億 THB となった。
- 3 事業のうち 2 事業が増収。主力の Ambient Seafood 事業 (※) は減収となったが、冷凍シーフード&関連事業が増収を確保した。
- 2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 11.3% 増の 1,496 億 THB、純利益が同 20.6% 増の 63.35 億 THB である。

(※) Ambient Seafood 事業: ツナ、イワシ&amp;サバやサケ関連の加工食品事業。

#### What is the news?

2016/12 期 4Q は売上高が前年同期比 0.7% 増の 335.50 億 THB、純利益が同 19.1% 増の 9.02 億 THB となった。買収した独水産加工大手の Rügen Fisch AG とカナダのロブスター加工会社 Les Pecheries de Chez Nous は業績に寄与した。原材料コストの上昇を受けてエビとサーモンなど主力加工食品を値上げした。また、コストコントロールの奏功やタイ政府のサポートから販管費は前年同期より削減し、採算性も改善した。

3 事業のうち 2 事業が増収。主力の Ambient Seafood 事業 (※) は前年同期比 2.3% 減収の 138.52 億 THB となった。Rügen Fisch AG はツナ缶の業績に寄与したものの、米国のツナ缶詰販売では売上高より利益を重視し販売が小幅に落ち込んだ。また、ツナやサーモンの原材料価格が上昇し、利益を抑えた。エビ、ロブスター、燻製サケやエビ養殖用の餌などを含む冷凍シーフード&関連事業の売上高は同 1.5% 増の 153.17 億 THB と増収を確保した。原材料の上昇により商品の販売価格を引き上げた。タイ国内のエビ販売が引き続き拡大したほか、エビやサーモンなど主力水産物の販売価格上昇も寄与した。また、ペットフード&高付加価値事業の売上高は同 8.0% 増の 43.81 億 THB と引き続き堅調に推移した。そのうちペットケア関連商品の販売が同 12.5% 増と牽引した。通期の地域別売上高割合では、タイ国内は 8.3% と 2015 年と同水準を維持した。主力の米国は利益に注力しコストを抑えた結果減収となり、構成比は前期比 2.8 ポイント減の 39.4% となった。欧州は買収効果もあって、同 3.1 ポイント増の 32.5% と拡大した。また、日本は 6.4%、アジア、オーストラリアや中東などを含むその他地域は 13.4% と前期から小幅に落ち込んだ。

#### How do we view this?

同社はエビに関する研究開発センターを開発する計画。5 億 THB を投資して研究開発センターを設置し、エビの養殖期間の短縮や、漁獲量の安定に向けた技術開発の強化を目指している模様。同社の売上高のうちエビ関連は約 30% 程度を占め、エビの漁獲安定は業績の拡大につながるの期待が高まっている。2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 11.3% 増の 1,496 億 THB、純利益が同 20.6% 増の 63.35 億 THB である。

#### 業績推移

※参考レート 1THB=3.1957円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万THB)	121,402	124,904	134,375	149,600	162,037
純利益(百万THB)	5,091	5,372	5,254	6,335	7,190
EPS(THB)	1.10	1.13	1.10	1.32	1.51
PER(倍)	19.18	18.67	19.18	15.98	13.97
BPS(THB)	9.15	9.48	9.06	10.45	11.29
PBR(倍)	2.31	2.23	2.33	2.02	1.87
配当(THB)	1.45	0.63	0.63	0.69	0.79
配当利回り(%)	0.07	0.03	0.03	0.03	0.04

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

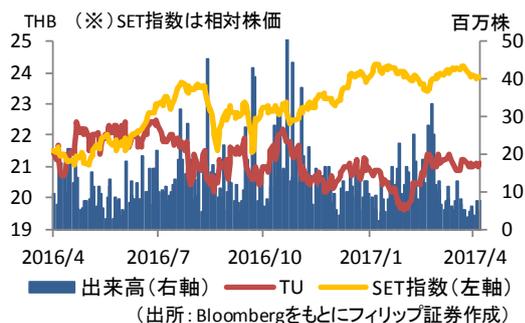
配当予想(THB)	<b>0.69</b>	(予想はBloomberg)
終値(THB)	<b>21.1</b>	2017/4/27

#### 会社概要

タイの水産加工会社大手。海産物の冷凍食品、缶詰の製造・販売を手掛けている。主な製品は冷凍ツナ、エビ、タコ、イカ、加工食品、ベーカリー、ペットフードなど。ツナ缶では世界最大規模を誇る。1992年より三菱商事、はごろもフーズと合併事業を展開。タイ国内のほか、ヨーロッパおよび米国において現地の有名ブランドの缶詰などの製造・販売も行っている。

#### 企業データ(2017/4/27)

ペータ値	0.65
時価総額(百万THB)	100,685
企業価値=EV(百万THB)	169,266
3か月平均売買代金(百万THB)	217.16



#### 主要株主(2017/4)

	(%)
1. Stock Exchange of Thailand	10.15
2. Mitsubishi Corp	7.29
3. BBL Asset Management	5.27

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### アナリスト

袁 鳴  
 ming.yuan@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707

庵原 浩樹  
 hiroki.ihara@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。